

2024 人材育成プログラム

安倍川流域において「現地調査実習」を実施しました

今年度も4月から開始した「人材育成プログラム」において、静岡県の安倍川上流域の大谷崩れで現地調査実習を開催し、11名の若手職員が参加しました。

昨年度は、安倍川流域の源頭部である大谷崩れから河口まで連続的に、土砂生産・流出現象、河床変動、砂防施設の効果などの調査方法について実習を行いました。

今年度は、大谷崩れを対象に、斜面における土砂生産、土石流の流出過程や堆積構造、砂防施設の効果などの調査方法の実習を行いました。



現地調査の様子

参加者からは、「数値シミュレーションの計算結果を現地において比較検証する重要性や砂防施設の効果を直接的に実感できた」、「20年前、10年前の写真と同じ現場を比較して長期的な土砂移動や河床変動の調査ポイントなどの技術を学べた」などの感想がありました。

これからも当センターでは、人材育成プログラムやOJTにより、若手技術者の育成、砂防に関する技術力の向上に取り組んでまいります。

(参考)

[令和5年度STCの人材育成プログラム](#)：機関誌 sabo(vol.135 2024winter)

[令和6年度人材育成プログラム開始しました](#)



一般
財団法人 砂防・地すべり技術センター
SABO & LANDSLIDE TECHNICAL CENTER(STC)